

平成29年12月15日

各位

大同生命保険株式会社
代表取締役社長 工藤 稔

中小企業経営者アンケート「大同生命サーベイ」－平成29年11月度調査－ ～「景況感」と「仕事と介護の両立」についてお聞きしました～

T&D保険グループの大同生命保険株式会社（社長 工藤 稔）は、全国の中小企業経営者を対象とした毎月のアンケート調査「大同生命サーベイ」を実施しています。

11月は、毎月実施している「景況感」に加え、個別テーマとして「仕事と介護の両立」を調査しました。

<調査概要>

調査期間	: 平成29年11月1日（水）～11月30日（木）
調査対象	: 企業経営者（約7割が当社ご契約企業）
調査エリア	: 全国
調査方法	: 当社営業職員が訪問により調査
回答企業数	: 4,181社
調査内容	: ①景況感 ②個別テーマ：仕事と介護の両立

<ポイント>

■景況感

➢「業況DI」は▲1.5pt（前月比+0.1pt）と、先月に引き続き調査開始（H27.10）以来の最高値を更新。「将来DI」は6.4pt（前月比+0.2pt）と前月からほぼ横ばいとなりました。

■個別テーマ：仕事と介護の両立

➢少子高齢化の進行にともない、親族の介護を理由に離職を余儀なくされる方が増加しつつあるなか、貴重な人材の確保に向けた「仕事と介護の両立」の取組みを明らかにすることで、「経営のヒント」としてお役立ていただくことを目的に調査しました。

✓約3割の経営者が「これまでに介護従事者がいた」と回答されました。

✓今後5年程度での介護離職者の増減見込みでは、約3割の経営者が「増える」と回答。介護支援に向けた取組みでは、「出退社時刻の柔軟化」が約5割と最も多く、次いで「本人の介護事情の把握」「心身の継続的な確認」となりました。

✓「仕事と介護の両立」に向けた事業上の課題は、「仕事の適切な配分・管理」が約4割と最も多く、次いで「受注量の維持」となりました。

これらの課題に有効な対策では、「業務内容・手順の見直し」が約4割と最も多く、次いで「作業やノウハウの見える化」「従業員の多能工化」となりました。

※業況DI：自社の現在の業況 将来DI：自社の将来（1年後）の業況

以上

【お問合せ先】 広報課 TEL. 03-3272-6206

【別紙】

■ 「大同生命サーベイ」について

当社は、昭和 40 年代から中小企業市場に特化した「独自のビジネスモデル」を通じて、約 37 万社のご契約企業をはじめ、多くの企業経営者さまとの関係を築いてまいりました。

「大同生命サーベイ」は、当社営業職員が経営者のみなさまを訪問し、「景況感」や「経営課題の解決に向けたお取り組み」等に関する“生の声”をお聞きする調査として、平成 27 年 10 月より、全国で実施しています（毎月の回答企業数：約 4,000 社）。

中小企業の多くを占める「小規模企業」にフォーカスした、「毎月」のアンケート調査としての“独自性”を活かし、経営者のみなさまの関心が高いテーマや、経営課題に対する“ヒント”等、有益かつタイムリーな情報提供に努めております。

末筆となりますが、本調査にご賛同いただき、ご協力いただいております経営者のみなさまには、厚くお礼申し上げます。

[参考：過去の個別テーマ（直近 1 年分）]

平成 29 年 11 月	仕事と介護の両立
平成 29 年 10 月	知的財産の保護・活用
平成 29 年 9 月	企業間連携
平成 29 年 8 月	災害への備え
平成 29 年 7 月	電力小売自由化
平成 29 年 6 月	助成制度の活用
平成 29 年 5 月	取引拡大に向けた I T 活用
平成 29 年 4 月	労働時間の縮減・同一労働同一賃金への取組み
平成 29 年 3 月	健康経営への取組み
平成 29 年 2 月	働き方改革と賃上げの実施意向
平成 29 年 1 月	成長投資に向けた資金需要
平成 28 年 12 月	「平成 28 年の振り返り」と「平成 29 年の抱負」

➤ 「大同生命サーベイ」のバックナンバーを、大同生命 Web サイトでご覧いただけます。

<https://www.daido-life.co.jp/knowledge/survey/>

※ 「大同生命サーベイ」で検索ください。